

多古中図書館だより

令和元年 11 月号
多古町学校司書



秋もだいぶ深まってきました。普段の年なら木の葉もあざやかに染まりますが、今年は台風で葉が飛ばされたため、きれいな紅葉が見られるかちょっと心配ですね。さて、ますます夜が長くなってきた 11 月を『多古中読書月間』として、多くの人に本を読んで欲しいと、図書委員会ではさまざまな企画を実施中です。ぜひ図書室にきて、読書を楽しんでください。

読書を楽しもう

多古中読書月間企画



◆クラス対抗読書ラリー

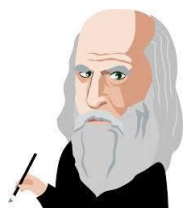
各クラスの図書委員が選んだ 20 冊から、
2 冊読もう！

◆文学書き出しクイズ

文学作品の書き出しで、作品名を当ててください。

◆名作まちがいさがし

間違い探しのプリントを図書室に用意して待っています。



レオナルド・ダ・ヴィンチ

没後 500 年



近代ヨーロッパ芸術に多大な影響を与えました。

『むかし、レオナルド・ダ・ヴィンチが…』

シルヴィー・ラフェレル：ほか編著

画家であり、科学者でもあり、建築家でもありと、様々な分野で才能を示したダ・ヴィンチの本当の姿にであえます。

『ダ・ヴィンチ・コード』 ダン・ブラウン：著

ルーブル美術館のソニエール館長が、ダ・ヴィンチの最も有名な素描「ウィトルウィウス的人体図」を模した形で死体となって発見された。現場に駆け付けた館長の孫娘で暗号解読官のソフィーは、祖父が自分にしか分からない暗号を残していることに気付き、事件解決へと動き出す。

『はじめてであう絵画の本 レオナルド・ダ・ヴィンチ』

アーネスト・ラボフ：作

「モナ・リザ」や「最後の晩餐」など、ダ・ヴィンチの絵を楽しもう！



ビブリオトークに参加

多古町立図書館で 10 月 27 日に行われた「ビブリオトーク」で、1 年 1 組の高良咲さんが『あんずの木の下で』、1 年 3 組の平山由唯さんが『真夜中のパン屋さん』を紹介してくれました。

高良さんは障害を持った子供たちが戦争中に疎開した事実を知り、悲惨さと人々の温かさを本から感じたと話しました。

平山さんはおいしそうなパンの香りが漂い、複雑な事情を抱えた人たちをつつみ込むような優しさを持った真夜中のパン屋さんの魅力が十分伝わるように話しました。

二人には参加者からの質問もあり、紹介してくれた本を読みたいとの声も聞かれました。また、二人の読書量にも驚いていました。



この本、読んでみませんか？

(図書委員 来実さんおすすめ)

『ここはボツコニアン』

宮部みゆき：著

モルブディア王国では 12 歳の誕生日の朝、ベッドの枕元にゴム長靴が現れます。このゴム長靴によって選ばれた「長靴の戦士」は、エコでクリーンな国のエネルギー源である「魔法石」を、パートナーと共に『ボツコニアン』という出来損ないの世界から、とってこなければなりません。「長靴の戦士」として選ばれたピノとピピのクスッと笑える冒険を覗いてみませんか。「もし自分だったら」と考えながら読むと面白いかもしれません。